

SHIRAKOBATO

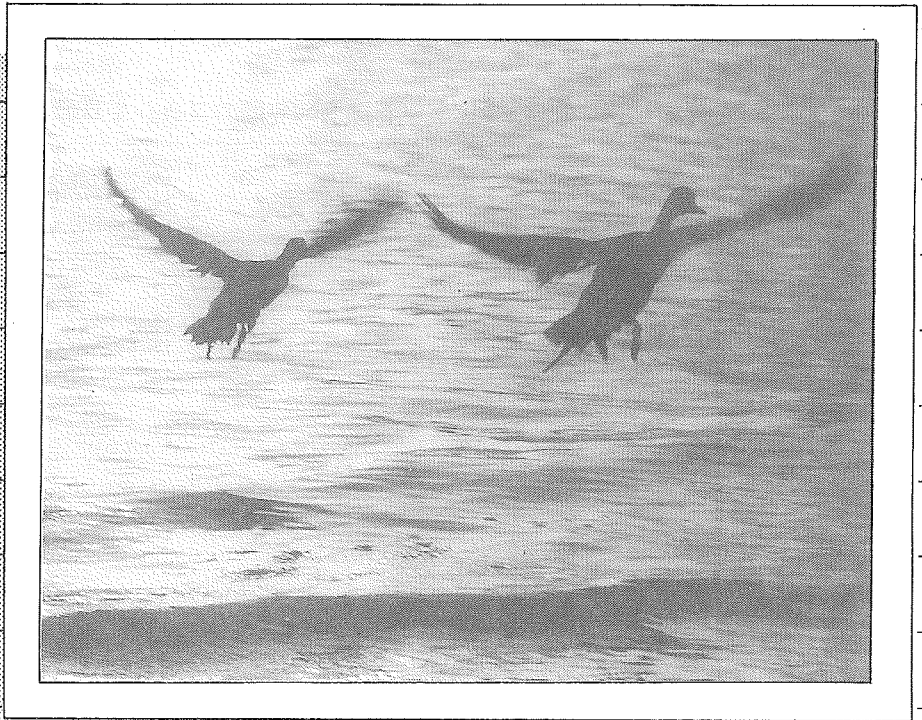
しらこぼと



1988.12

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO.55

日本野鳥の会埼玉県支部

表1 調査概要

調査期間	1988年5月10日～7月10日	
調査者	会員 49名	
調査内訳	調査はがき	30枚
	調査票	89枚
調査メッシュ	150メッシュ	

表2 埼玉県の地域区分

地域	地形区分	おもな都市名	備考
県南東	低地	草加、越谷	
県南中	台地、低地	川口、浦和 大宮、上尾	
県南西	台地、低地	所沢、川越	
県央・東	低地	鴻巣、久喜 加須、栗橋	
県北	台地、低地	熊谷、深谷 本庄	
県西南	丘陵	飯能、越生	1986年冬より調査開始
県西北	丘陵	皆野、寄居	
秩父	山地	秩父山地	

コヨシギリ
スズメ目
ヒタキ科
ウグイス亜科
全長13cm



(比企 裕)

(注1) 紙面の都合上、全地域に生息しているコジュケイ、キジバト、ツバメ、ヒヨドリ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシブトガラス、ハシボソガラスの10種は表から削除してある。

(注2) トビ以外のワシ、タカ類は保護のため削除してある。

(注3) 日本で繁殖しないシギ・チドリ類等は削除してある。

(注4) 本調査は繁殖調査でないため、期間中に国内繁殖種であれば明らかに通過であっても示してある。

表3 県内の地域別種別生息状況

種名	地域	85	86	87	県南	県南	県南	県中	県東	県北	県西	県西	秩父
		年夏	年夏	年夏	東	中	西	東	北	南	北	父	
カイツブリ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コアホウドリ			○										
カワウ		○	○	○	○			○			○		
ヨシゴイ		○	○	○	○	○		○	○				
ミゾゴイ		○	○										
ゴイサギ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ササゴイ		○	○	○			○	○		○	○	○	
アカガシラサギ												○	
アマサギ		○	○	○	○	○		○	○				
ダイサギ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チュウサギ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コサギ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アオサギ		○	○	○			○			○			
コブハクチョウ			○										
オシドリ													○
マガモ										○	○		
カルガモ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コガモ			○	○	○	○	○	○	○				
ハシビロガモ											○		
ホシハジロ				○						○			
キンクロハジロ			○							○			
ミコアイサ										○	○		
トビ		○	○	○	○	○		○	○		○		
ウズラ		○	○	○							○		
ヤマドリ		○	○										
キジ		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
ヒクイナ		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
バン		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オオバン				○									
タマシギ				○				○	○				
コチドリ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イカルチドリ		○	○	○							○	○	○
シロチドリ		○	○	○							○		
イソシギ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヤマシギ				○									
オオジシギ		○								○			
セイタカシギ										○			
ツバメチドリ		○		○							○		
コアジサシ		○	○	○							○		
シラコバト		○	○	○	○	○				○			
アオバト		○	○										○
ジュウイチ		○	○	○									○

種名	地域			秩 父	北 北	南 北	東 東	西 西	中央 ・	南 南	南 南	85 年 夏	86 年 夏	87 年 夏
	種名	85 年 夏	86 年 夏											
カッコウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ツツドリ	○	○	○									○	○	○
ホトトギス	○	○	○				○	○	○	○				
コノハズク	○	○												
オオコノハズク		○												
アオバズク	○	○	○	○	○									
フクロウ	○	○	○					○						
ヨタカ	○	○	○						○	○				
ヒメアマツバメ	○			○				○	○					
アマツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
ヤマセミ	○	○	○											
アカショウビン	○	○												○
カワセミ	○	○	○		○	○	○	○						
ブッポウソウ	○	○												
アリスイ		○												
アオゲラ	○	○	○		○	○	○	○	○					
アカゲラ	○	○												○
オオアカゲラ														○
コゲラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
ヒバリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
コシアカツバメ	○													
イワツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
キセキレイ	○	○	○		○	○	○	○	○					
ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
セグロセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
ビンズイ		○												
サンショウクイ	○	○			○									
チゴモズ		○												
モズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
アカモズ	○													
カワガラス	○	○												○
ミソサザイ	○	○												○
イワヒバリ	○													
カヤクグリ	○													
コマドリ	○	○			○									○
コルリ	○	○	○											○
ルリビタキ		○												
ノビタキ	○													
イソヒヨドリ	○													
マミジロ	○	○												○
トラツグミ	○	○			○	○								
クロツグミ	○	○	○											
アカハラ	○	○	○											
ヤブサメ	○	○								○				○
ウグイス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
コヨシキリ	○	○	○	○	○									
オオヨシキリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
メボソムシクイ	○	○	○							○				
エゾムシクイ		○												○
センダイムシクイ	○	○	○							○				○
クイタダキ	○	○	○											
セッカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
キビタキ	○	○	○							○	○			
オオルリ	○	○								○				○
コサメビタキ	○	○								○				
サンコウチョウ	○	○	○							○	○			
エナガ	○	○	○							○	○	○		
コガラ	○	○	○							○				○
ヒガラ	○	○								○				○
ヤマガラ	○	○	○							○				○
シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
ゴジュウカラ	○	○												○
キビシリ	○													○
メジロ	○	○	○							○	○	○	○	○
ホオジロ	○	○	○							○	○	○	○	○
コジュリン										○				
ホオアカ														○
ノジコ			○											
アオジ	○	○								○				
オオジュリン														○
マヒワ	○													
ウソ	○	○	○											
コイカル		○												
イカル	○	○	○							○	○			
シメ		○	○							○	○			
コムクドリ	○	○	○											○
カケス	○	○	○											○
ホンガラス	○	○												
ドバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
セキセイインコ	○	○												
ワカゲホンセイインコ	○	○	○							○				
コウカンチョウ										○				
ベニスズメ		○												
ギンバラ	○													

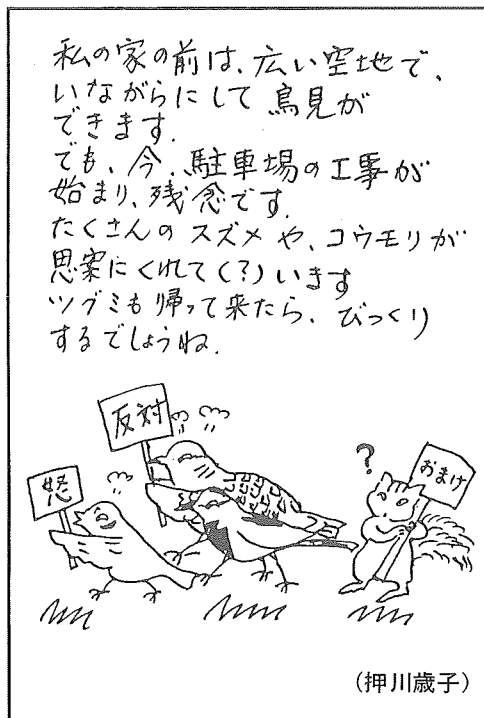


ハシビロガモ

町田好一郎 (本庄市)

1988年8月6日、利根川(阪東大橋下流)にて、オグロシギを観察中にハシビロガモの幼鳥を観察、繁殖の可能性も考えられますので報告します。

- ・5月23日、ハシビロガモの♂2羽、♀1羽が、草原の中でウロチョロしているのを観察。
- ・5月28、29日にも、ほぼ同地で観察。
- ・6月1日、♂3羽、♀3羽を中州の草の中で見付けた。
- ・6月20日、夕立の激しい雨の中を泳いでいる♂2羽、♀2羽を認めた。この時点まで、ちょっと珍しい残留組がいるくらいに思っていた。
- ・8月6日、午前6時20分、オグロシギを観察中に、突然ハシビロガモと思われる幼鳥が出現し、驚かされた。くちばしの形からして、ハシビロガモと予想したが、性別は判明できなかった。飛び方も、まだぎこちなく、水面ストレスをやっと飛んでいるという感じだった。成鳥が、アシの中で、♂♀各1羽がじっとしていた。
- ・8月9日、午前5時20分、入江の水たまりの中を泳いでいた。この時も成鳥は、アシの中でジッとしていた。
- ・その後、しばらくの間、成鳥・幼鳥ともども行方不明であった。
- ・10月12日、午後4時20分、砂利採取の跡の水たまりの中で幼鳥1羽を認めた。8月6日以来、約2ヶ月が経過したが、かなり成長し、メスの幼鳥であることが確認できた。水浴びをしたり、羽づくろいをしたり、水草をつつついたりしていた。その後、岸の近くまで来たので、2、3枚写真におさめた。



ミソサザイ

榎本秀和 (鴻巣市)

10月23日、舩倉島の方向から船と並行に飛来した1羽のミソサザイが、船を追い越し輪島の方向へ飛び去る。その間約10分(帰りの船上より北川氏観察)。

輪島・舩倉島間の距離は48km、定期船で、1時間50分かかる距離である。単純計算で船の速度は26km/h強となり、ミソサザイはそれ以上の速度で渡っていたことになる。

シラコバト

小林由紀子 (栗橋町)

シラコバトを加須市むさしの村でいつも見ます。夏には、キジバトと地上で元気にケンカをしているところも見学しました。

私は、テニスをしに行くのですが、ゲームを始めると頭上をニャーニャーと鳴きながら飛ぶのです。気が散って負けてばかりいます。

市田則孝・本部常務理事が解説するテレビ番組『野生の詩—テレビバードウォッチング』がテレビ埼玉で放映中です。毎週火曜日～土曜日の18:55～19:00。お楽しみください。

野鳥情報

カイツブリ ◇10月14日、浦和市の白幡沼で数日前にふ化したばかりのようなヒナが3羽。巣の上にいるヒナに親が餌運び（海老原美夫）。◇10月23日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森の池で、親とほとんど同じ大きさの幼鳥が3羽。まだ親に魚をもらっていたが、時々親が追いわけまわし、水しぶきがあがっていた。独立する日も近いのだろう（藤原寛治）。

カンムリカイツブリ ◇10月23日、狭山湖で数羽（三田長久）。

ヨシゴイ ◇10月2日、川口市差間で2羽（手塚正義、渡辺 敦）。

アオサギ ◇10月9日、10日、戸田市道満で13羽（登坂久雄）。◇10月16日、所沢市の下富遊水池で1羽（宮寺 充）。

コハクチョウ ◇10月28日、本庄市の阪東大橋下流で親鳥2羽幼鳥3羽（林 滋）。

オシドリ ◇10月31日、越谷市の古利根川でカルガモの群れの中に目のさめるようなきれいな♂1羽（山部直喜）。

オカヨシガモ ◇10月7日、所沢市の下富遊水池で3羽（宮寺 充）。

ハシビロガモ ◇9月29日、所沢市の下富遊水池で3羽（宮寺 充）。

ホシハジロ ◇10月16日、狭山湖で1羽（三田長久）。

ミサゴ ◇9月14日、所沢市の下富遊水池上空で1羽。通過後しばらくしてまた上空に現われた（宮寺 充）。

オオタカ ◇9月21日、戸田市道満で1羽。工事の杭にとまっていたが、50羽ぐらいのカラスにとり囲まれ、飛びたってしまう。10月10日にも見られた（登坂久雄）。

サシバ ◇9月29日午前7時30分、本庄市の阪東大橋下流上空で4羽。旋回しながらゆっくりと北から南へ渡って行く（町田好一郎）。◇9月30日、伊奈町小室で1羽。地上5～6mの高さで道路を横断（榎本みち子）。◇10月1日午前7時45分～8時55分、坂戸市西坂戸と毛呂山町毛呂山台の境界上

空で北から現われて南の方へつぎつぎに飛んで行く。合計で36羽（増尾 隆、節子）。

◇10月2日、川口市差間で1羽（手塚正義、渡辺 敦）。◇10月3日午後2時、浦和高砂の裁判所上空を輪を描きながら北から南へ1羽（海老原美夫）。◇10月4日午後3時20分、鴻巣市栄町上空で2羽。気流に乗って旋回しながら上昇。南の方へ飛び去る（榎本みち子）。◇10月25日午後2時、鴻巣市大間2丁目の大野神社上空で1羽。旋回しながら上昇し西の方へ飛び去る（榎本みち子）。

チョウゲンボウ ◇10月9日、戸田市道満で3羽（登坂久雄）。◇10月25日、蕨市錦町で2羽（福井巨）。

メダイチドリ ◇9月23日午後5時30分、本庄市の阪東大橋下流の中州で幼鳥52羽（林 滋、町田好一郎）。

ケリ ◇10月23日午前10時40分、狭山湖で5羽。緑の森と青い湖の上を白と黒のコントラストも鮮かにみごとな編隊飛行を見せてくれた（三田長久）。

タゲリ ◇10月22日午後1時、本庄市の阪東大橋下流で10羽。上空をフワリフワリと飛んでから中州に到着く（林 滋、町田好一郎）。

アカエリヒレアシシギ ◇10月9日、狭山湖で1羽（宮寺 充）。

ユリカモメ ◇10月4日、本庄市の阪東大橋下流で14羽（町田好一郎）。

ツツドリ ◇9月27日、大宮市日進町の自宅近くで1羽（森本國夫）。

アオバト ◇10月2日、鳩山町の物見山で1羽（タカの渡り調査班）。

アオバズク ◇9月16日、浦和市大間木の自宅そばの木で1羽。約30分位鳴いていた。（大武百合子）。

ヒメアマツバメ ◇10月2日、浦和市中尾の自宅上空で1羽（草間和子）。

アマツバメ ◇10月2日、川口市差間で1羽（手塚正義、渡辺 敦）。

カワセミ ◇10月9日、戸田市道満で1羽（登坂久雄）。◇10月10日、浦和市の芝川と加田屋川の合流点からやや下流で1羽（大

武昭雄)。◇10月23日、越谷市恩間新田で1羽(山部直喜)。◇10月25日、蕨市錦町で1羽(福井 亘)。

ハクセキレイ(ねぐら) ◇10月10日午後6時、浦和市鹿手袋の川口信用金庫前で5羽。10月12日午後6時30分、同金庫前のイチョウの木に10羽(福井 亘)。

ノビタキ ◇10月2日、浦和市大間木で6羽(為貞貞人)。◇10月2日、川口市差間で5羽以上(手塚正義、渡辺 敦)。◇10月8日、熊谷市大麻生で2羽(渡辺 敦)。

ジョウビタキ ◇10月21日、本庄市の阪東大橋下流の水たまりで♀1羽、カワラヒワと一緒に水浴びをしていた(町田好一郎)。◇10月23日、松伏町大川戸の八幡神社で♂1羽(山部直喜)。◇10月23日、浦和市秋ヶ瀬ピクニックの森で♂2羽♀1羽。渡ってきたばかりなのだろう。一緒に行動していて、開けた場所にはあまり出てこなかった(藤原寛治)。◇10月24日、大宮市丸ヶ崎の自宅の庭で♂1羽。下面のオレンジ色が、庭のカキの実よりずっと鮮やかだった(金子真理)。◇10月24日、大宮市日進町で♂1羽(森本國夫)。◇10月26日、所沢市の航空記念公園で♀1羽(宮寺 充)。◇10月27日、浦和市本太の自宅附近で♀1羽(藤野富代)。◇10月27日、鴻巣市大間1丁目で♂1羽(榎本登志枝)。◇10月28日、蕨市錦町で2羽(福井 亘)。

トラツグミ ◇10月25日、浦和市太田窪の路上で落鳥(奈良部登喜枝)。

ツグミ ◇10月20日、浦和市本太の自宅附近で1羽(藤野富代)。◇10月23日、越谷市平方で1羽(山部直喜)。◇10月25日、所

沢市くすのき台で1羽(宮寺 充)。◇10月28日、蕨市中央の和楽神社で1羽(福井 亘)。◇10月30日、森林公園で1羽(藤原寛治)。◇10月31日、大宮市日進町で1羽(森本國夫)。◇11月2日、浦和市鹿手袋で1羽(海老原美夫)。

エゾビタキ ◇9月18日、大宮市日進町で1羽(森本國夫)。◇9月29日、所沢市下富で4羽(宮寺 充)。◇10月8日、熊谷市大麻生で2羽(渡辺 敦)。

コサメビタキ ◇10月8日、熊谷市大麻生の野鳥の森で1羽(渡辺 敦)。

スズメとムクドリ(ねぐら) ◇10月10日、戸田市笹目の谷口稲荷神社の竹林に共同ねぐらをとっていた。ヒヨドリの声もしていたのでヒヨドリも使っているかもしれない。とてもにぎやかだった(福井 亘)。

コムクドリ ◇10月2日、浦和市大間木と三室芝原の境の電線でムクドリ10羽に混じて♂2羽♀1羽(大武昭雄)。

カケス ◇10月2日午前10時から14時まで、本庄市の阪東大橋下流で北から南西へ合計98羽渡っていった。10月4日午前7時20分、同所で同方向に34羽渡る。(林 滋、町田好一郎)。◇10月8日、熊谷市大麻生の野鳥の森で多数(渡辺 敦)。◇10月9日、戸田市道満で1羽(登坂久雄)。◇10月10日、蕨市錦町で1羽(福井 亘)。◇10月22日、浦和市領家の農協の上空で1羽。渡りのシーズンとはいえ、こんな街の中で見つけたのでしばし、あぜん(星崎杉彦)。◇10月24日、浦和市中尾の自宅屋敷林でさわぐ。(草間和子)。

表紙の写真

バードフォトコンテスト入選作

オナガガモ (ガンカモ科)

夕日がすばらしい黄金色で沈む時には肝心の鳥が飛んでくれず、鳥がいい形で飛んでくれた時には、曇天で夕照が出ない。いつもこの繰り返しです。

この撮影の時は、夕日をバックに白鳥の夫婦を追っていると、いいタイミングでオナガガモのこれまた夫婦が夕日に向かってとんで

くれたのです。

まるであつらえたようなファンタジックな光のなかをスーッとフライト。

シルエットでムードを出し、少し羽根をブラして『動感』を出してみました。寄せてくる川面のさざ波もキラッと輝いてくれたようです。(写真と文・町田好一郎=本庄市)



熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：12月11日（日）
 集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前
 交通：秩父鉄道熊谷9：04発→大麻生9：12着／秩父鉄道寄居9：01発→大麻生9：19着
 解散：午後1時ごろ
 担当：諏訪隆久、鈴木忠雄、榎本秀和、林滋、岡安征也、町田好一郎
 見どころ：コハクチョウはまだかな？ カモやカイツブリも数を増して、いよいよ冬本番の大麻生。北風吹いても、河原の小鳥は元気です。

北川辺町・渡良瀬遊水池探鳥会

期日：12月11日（日）
 集合：午前9時10分 東武日光線柳生駅前
 交通：東北本線大宮8：14発→栗橋8：42着、東武日光線乗り換え8：55発→柳生9：05着
 （可能な方は自家用車でおいでください。栃木県側はかなり奥まで入りますのでご協力願います）
 解散：午後1時ごろ
 担当：山部直喜、石川敏男、木村義人、中島康夫
 見どころ：冬風に舞うタカの仲間。お目当てのタカに遭遇するかどうか、今年最後の運だめし。少し変わった(?) カイツブリ類も期待できそう。

野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。
 探鳥会に参加される場合、持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、（もしあれば）双眼鏡など。参加費は、一般＝100円、会員及び中学生以下＝50円。受付は探鳥会当日です。特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。小雨決行です。

夢中になりすぎて、鳥を驚かししたり、植物を荒らしたりしないように。タバコの吸い殻やゴミを散らかすなんて事はもってのほか。いつもフィールドマナーをお忘れなく。

身支度ができたら、さあ出発！

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：12月18日（日）
 集合：午前8時15分 北浦和駅東口 または午前9時 浦和市立郷土博物館前（北浦和駅の場合、その後バス利用）
 解散：午後1時ごろ
 後援：浦和市立郷土博物館
 担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司、乗田実、手塚正義
 見どころ：川べりに冬鳥の群。ユリカモメやハマシギの群舞が、冷たい空気の中を駆け抜けます。時のたつのも忘れて、今年最後の三室を満喫。

滑川町・森林公園探鳥会

期日：12月18日（日）
 集合：午前10時 森林公園南口
 交通：東武東上線川越9：10発→森林公園9：33着、東武バス乗り換え、森林公園南口行き9：42発→南口9：52着／東武東上線寄居8：52発→森林公園9：23着、以下同上バス利用
 解散：午後1時ごろ
 費用：入園料350円（子供80円）は各自負担
 後援：埼玉県（第43回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」キャンペーン行事）
 担当：諏訪隆久、渡辺敦、榎本秀和
 見どころ：心静かにカモとの対話。人影まばらな公園で、カモたちを心ゆくまでウォッチング。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：12月24日（土） 午後1時～3時ごろ
会場：支部事務局（浦和駅西口を出て左側、三菱信託銀行と日建ハウスの間に入って進み、信号ひとつ渡ってY字路の右、茶色5階建マンションの1階＝徒歩約5分＝住所は12ページ下欄のとおり）
案内：また来年も、すばらしい野鳥と友人に巡り合えますように…。想いを込めて「1月号」の袋づめ。

野鳥写真クラブ定例会

とき：12月24日（土） 午後3時ごろ～5時
会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ
案内：今年最後の写真クラブ。これだけは発表しておきたい、という作品大募集。

年末講演会&パーティー

期日：12月25日（日）
会場：浦和市立コミュニティーセンター（浦和駅西口から県庁通り西進、中仙道を左折して約600m右側）
第1部 スライドと講演（3階視聴覚室）
午後2時～2時30分＝スライド映写「埼玉県支部の1年」。支部活動を写したスライドを見て1年を振り返りましょう。写真を披露してくれる方、17日ごろまでに事務局にご連絡ください。まともじゃない写真大歓迎。
午後2時30分～4時30分＝講演会「町に生きるタカ・チョウゲンボウの未来」（講師：野鳥写真家・平野伸明さん）。第一人者のお話を気軽に聞けるなんて、埼玉

県支部の会員は幸運だと思いませんか。参加費は探鳥会と同じです。

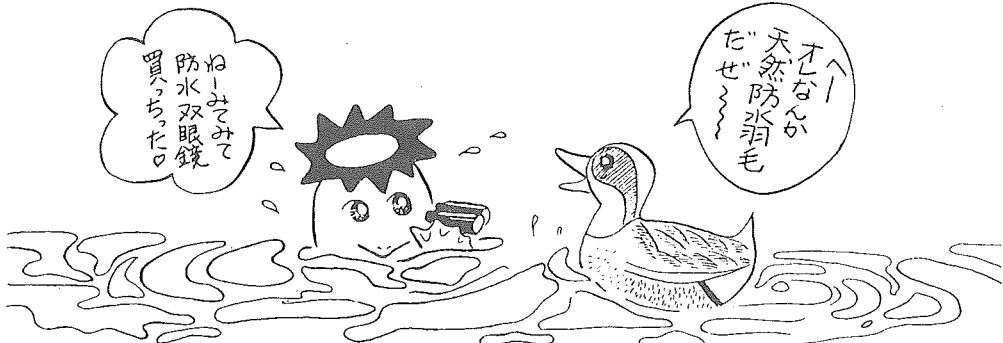
第2部 年末パーティー（地下喫茶室）
午後5時～7時＝恒例ワイガヤの立食パーティー。会費2,000円（中学生以下500円）。第2部のパーティーに参加ご希望の方は、17日までに事務局または各探鳥会リーダーにお申し出ください。

浦和市・さぎ山記念公園探鳥会

期日：1月3日（火）
集合：午前9時30分 さぎ山記念公園駐車場
交通：大宮駅東口7番バス乗場（高島屋向い側）から中野田引返場行き8：37発→上野田下車／浦和駅西口1番バス乗場からさぎ山記念公園行き8：32発→終点下車

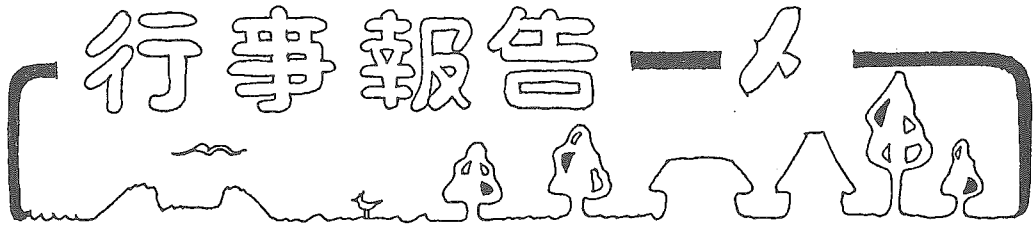
解散：午後1時ごろ
後援：埼玉県（第43回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」キャンペーン行事）
担当：海老原美夫、松井昭吾、金子真理
見どころ：新年早々探鳥会。新春の光を浴びて、いつも見慣れた鳥たちが一味違って見えませんか？（けっして二日酔いのせいではありません）あ～、今年も鳥三昧の一年になりそう。

-
- 1月8日（日） 熊谷市・大麻生探鳥会
久喜市・昭和池探鳥会
 - 1月14日（土） 長野県・軽井沢探鳥会
 - 1月15日（日） 浦和市・三室地区探鳥会
嵐山町・武蔵嵐山探鳥会
 - 1月29日（日） 越谷市・古利根川探鳥会
寄居町・鉢形城跡探鳥会



(榎本みち子)

行事報告



10月2日(日) 鷹の渡り調査

参加者 荒木恒夫、逸見嶮、榎本秀和、海老原美夫、岡安征也、金井祐二、金子真理、黒田佳子、小荷田行男、小淵健二、川口国寿、庄田晴善、杉本秀樹、鈴木伸、諏訪隆久、関口善孝、田口浩司、林滋、福井恒人、別所幸男、町田好一郎、松井昭吾 箕輪眞澄、村部孝、森本國夫、山口輝雄、山口博、渡辺泰子 (28人) 調査は、本庄市の阪東大橋、寄居町の鐘撞堂山、鳩山町と東松山市の境にある物見山、日高町の高指山と白銀平の5カ所で行われた。前日の土曜日が悪天候が続いた後の好天であったため、鷹がかなり飛んでしまったと思われ、また当日は生憎の曇天であって鷹日和とは程遠く、例年より観察された数が少なかった。研究部では、新しい地点を加えることや春の渡りの調査も検討しており、より充実した調査を目指している。

眠くて、つらくて……。でも鷹の渡りを見たときの感動は、なんともすばらしいものです。あなたも来年こそは調査に参加しませんか。日程については、調査の時期が近づいたら『しらこぼと』でお知らせします。

10月9日(日) 北川辺町 渡良瀬遊水池

人 34人 **天気** 曇 **鳥** カワウ ダイサギ チュウサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ キンクロハジロ トビ ノスリ チュウヒ チョウゲンボウ ユリカモメ キジバト ヒバリ ショウドウツバメ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ノビタキ セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) 遊水池南側の土手からカモ達をしばらく観察してから車に分乗して移動。この夏にマダラチュウ

ウヒが出たという地点で猛禽を待った。少し日が差し始めて出そうな雰囲気にはなったが、ちっとも現われない。その間、旅行中のノビタキが土手の草や杭などに止まっているのを見た。夏羽のあとがうっすらと残っているのから冬羽になったのまで様々だった。猛禽をあきらめて鳥合わせをする頃になって、やっとチョウゲンボウを皮切りに現われ始めた。印象的だったのは、昼食中に30羽前後の群れでカケスが次々と渡って行くのを見られたことで、ベテランの参加者も一度にこんな数のカケスを見たのは初めてだと感嘆していた。

10月9日(日) 熊谷市 大麻生

人 51人 **天気** 晴 **鳥** ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ オオタカ コジュケイ キジ イカルチドリ キジバト カワセミ ヒバリ ショウドウツバメ ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ノビタキ セッカ エゾビタキ コサメビタキ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) あ！カワセミ！あ！オオタカ！あ！コサメビタキ！参加者は同時に三方からの発見を知らせるリーダーの声で、荒川の河原を走り回った。しばらくすると、ノビタキが舞う。年間わずかな期間しか姿を見せない旅鳥と会員の気持が一致し、非常に幸運だった。今月は「野鳥の森」から大麻生河原を歩き、山野の鳥が中心となり、初心者には難しかったかもしれない。

10月16日(日) 浦和市 三室地区

人 55人 **天気** 晴 **鳥** カイツブリ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ チョウゲンボウ バン イカルチドリ タカブシ

ギ イソシギ タシギ シラコバト キジバト ツツドリ カワセミ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハンボソガラス ハンブトガラス (31種) 歩いていると汗ばむほどの好天に恵まれた。猛禽が出ないかと空ばかり見ていたら、なんとチョウゲンボウが木に止まっていた。そして、飛立ったと思ったらバツタを見事につかまえて工事中の橋のらんかんで食べ始めた。この一部始終を全員がじっくりと観察できた。また、いつもの場所では、これまた全員がカワセミの美しい姿を楽しめ、言うことなし。芝川では、珍しくバンが姿を現わし、見沼田圃の上を山から下りてきたカケスが移動して行くのが見られた。

10月23日 (日) 荒川村 日野溪谷

人 48人 **天気** 快晴 **鳥** ノスリ タカSP キジバト アオゲラ アカゲラ コゲラ イワツバメ キセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ウグイス エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ スズメ ムクドリ カケス ハンボソガラス ハンブトガラス (26種) くっきりと晴

れ渡った空高くを舞うノスリ、峰から峰へパタパタ飛んでいくカケス、林の中のカラ類とキツツキ、今季初めてのジョウビタキ、メスにくらべてオスが驚くほど小さいジョロウグモ、ミズヒキソウ、ミゾソバ、ツリフネソウ、山里風景、溪谷美、何本も横切るけもの道、イノシシのひづめの跡、満足。

10月29日 (土) 『しらこぼと』袋づめの会

がんばってくれた人 岩波勇一、海老原教子、楠見文子、諸徳寺四郎、登坂久雄、藤野富代、吉田二三子、渡辺敦、渡辺嘉男 (9人)

10月29日 (土) 写真クラブ定例会

集まった人 袋づめが終わった頃続々と集まって、合計15人 **作品発表した人** 4人



バンの親子 (田中良平・足立区)

富士フィルム 野鳥・動物フォトセミナー

野鳥・動物写真分野の第一人者である嶋田忠先生・吉野信先生をお迎えしての特別写真講座です。野鳥や動物を美しく、また正しく撮影するテクニックや心構えをスライド上映により分りやすく解説していただきます。

- 月日— 1989年 1月28日 (土)
- 時間— 12時~16時(11時30分開場)
- 場所— イイノホール<東京>
東京都千代田区内幸町2-1-1
03 (506) 3251
- 定員— 650名 (先着順)
- 参加費— 2,000円
- 講師— 嶋田忠氏 吉野信氏

※野鳥の会会員は割引致します。(1,800円)
会員ナンバーなどを記入した会員証のコピーを、現金書留に同封してください。

申込方法

電話にてお申込ください。03 (406) 2069
月曜~金曜 10時~17時まで
お申込後、下記に現金書留にて参加費のお支払をお願いします。お支払を確認後、当方より参加券をお送りします。

- お問い合わせ先○参加費のお支払先
〒106 東京都港区西麻布2-26-30
富士写真フィルム(株) プロフェッショナル写真部
フォトセミナー事務局 03 (406) 2069
- 主催 富士写真フィルム株式会社
- 後援 財団法人 日本野鳥の会



支部長が勲四等受賞

11月3日、今井昌彦支部長が勲四等瑞宝章を受賞しました。昭和60年4月に就任して以来の日本調理師会会長としての活動が認められたものです。野鳥の会支部長としての受賞ではないのがちょっと残念ですが、おめでとうございます。

新たな事務局スペース物色中

前月号、前々月号で支部の事務局の問題、財政的問題などを率直にご説明しました。

それらの事実をふまえたうえで、役員会では、新たな事務局スペースを具体的に探し始めました。ただたんに今の不便をかわせれば良いというものではありません。一時しのぎのことではなく、われらが埼玉県支部の今後の活動の拠点となりうる場所、前進の体勢をかためる足場をさがしているわけです。

既に有力な候補が見つかり、役員会で慎重に検討を進めています。

県でも野鳥生態写真募集

第43回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」行事の一環として、県自然保護課で県内に生息する野鳥の生態写真を募集しています。

期間：昭和64年2月15日まで

応募資格：県内在住者または県内に通勤・通学するもの

規格：カラーは六ツ切り、白黒は四ツ切り

注意事項：作品裏面に鳥名・撮影日時および場所・住所・氏名・年令・電話番号・職業を明記。応募は1人何点でも可、ただし入賞は1人1点。合成写真や組写真は不可。入賞作品の著作権は埼玉県に帰属する。

送付先・問合せ先：〒336 浦和市高砂3-15-1 埼玉県自然保護課(☎0488-24-2111)

内線 2424)

ありがとうございます

次の方々からご寄付をいただきました。
笠井実 10,000円、草間和子 2,173円

(いずれも50音順、敬称略)

会員数は

11月20日現在で 955 人です。

活動報告

10月3日 『しらこぼと』10月号発送。

10月16日 役員会(司会・林滋、各部の報告、バードウォッチング・フェスティバルの実施について、探鳥会・年末講演会などの予定について、事務局問題、その他)。

10月17日 NHK浦和放送局、フェスティバルを『暮しの情報』で放映(10月22日)について。

10月18日 県自然保護課から、野鳥保護のつどいピラ持参、打ち合わせ。

10月24日。11月号校正(大武昭雄、西城戸司)、26日も(西城戸)。

10月28日 フェスティバル展示作業立ち会い。

10月29日 テレビ埼玉(同日のニュースで放映)、埼玉新聞(30日掲載)、フェスティバル会場で取材。

10月30日 テレビ埼玉で県広報として、フェスティバルについて放映。



毎月校正を手伝ってくれる大武さんから、前月号の顔写真について、「ひっそりとやっていたかったのに」というボヤキのはがきが届きました。そうはいきませんよ。勝手な指名手配は私のひそかな楽しみのひとつだし、事前に相談すれば断わるに決まっているのですから。あきらめてください。(海老原美夫)

『しらこぼと』 1988年12月号(第55号)

定価 100円(会費に含まれます)

発行人 今井昌彦

編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部

☎ 0488 (32) 4062

〒 336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号プリムローズ岸町107号 郵便振替東京9-121130

印刷 望月印刷株式会社

(本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)